心に残る文化財子ども塾　学習指導案

日　時　平成２８年６月７日（火）

対　象　安来市立井尻小学校５・６年生　１４名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　場　所　井尻小学校図工室

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者　埋蔵文化財調査センター職員

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　井尻小学校教諭

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　安来市教育委員会職員

１．主題　　　安来・井尻の歴史と土器作り

２．ねらい

　　・安来市や井尻の町の昔の様子について関心を高める。

　　・土器作りの体験活動を通して、古代の生活への理解を深める。

３．展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習内容 | 指導者の支援、留意点 | 準備物 |
| １０：４０１０：４５１１：００１２：１５ | １．オリエンテーションと講師紹介（図工室にて）２．安来市の昔の様子についての話（安来市教委職員による説明）３．縄文時代など古い時代の土器の特徴について学ぶ４．土器作り５．まとめ６．片づけ | ・事前の打ち合わせで学習の流れを確認する。・事前に教科書や資料集などで縄文・弥生時代・古墳時代の復習をしておく。・活動の際、児童の補助や助言を行う。・**事前に作りたい土器のイメージを紙に書いておく。**・土器づくりの方法について知るだけでなく、製作を通して古代人の知恵や土器の特徴について考えることができるようにする。・感想を発表する。 | 粘土、粘土板施文具ｾｯﾄ（水入れ）感想用紙（後日回収） |

４．準備物

児　童　筆記用具、タオル、粘土板、ヘラ、ぞうきん、水入れ、体操着

センター　土器（縄文土器、弥生土器）、粘土、施文具、感想用紙、アンケート用紙、土器の説明パネル

安来市　土器（弥生土器・土師器・須恵器）、鉄器（刀子）、勾玉：経塚鼻遺跡